

家庭や職場でねじを話題に会話を広げよう！

ファスナー事業部65周年を記念して ねじの写真・ねじの絵ハガキを 募集しています

日東精工では現在、一般の方々から広く、ねじの絵、ねじの写真を募集しています。
当社ファスナー（工業用ねじ）事業が今年8月に65周年を迎えることを記念したものです。
ねじをよく見てみると機能的で美しい、カッコいいのです。ねじの魅力、ぜひ再発見して！



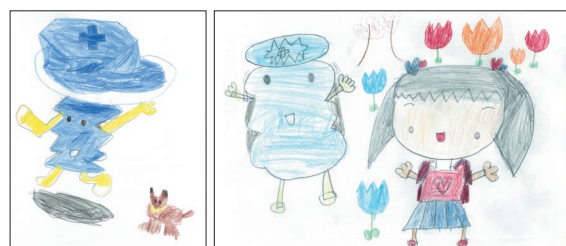
これまで当社では約6500億本のねじを製造販売してきました。そのなかには頭部の径が1ミリにも満たない小さなねじもたくさんあります。でも、そんなねじもすべて合算すると、なんと地球260周回以上の長さになります。国連の持続的開発目標SDGsでは多様性、小さなこと・いろいろなことへ目を向ける大切さが謳われていますが、小さなねじも積み重ねれば、地球を超え宇宙規模のものになるわけです！

そんなねじの一つひとつに思いを馳せながら、ねじの大切さやねじの魅力を、改めてできるだけたくさんの方に気づいてもらいたいという願いを込めたキャンペーンが「撮ってみよう！ねじの写真、描いてみよう！ねじの絵ハガキ」です。

応募は年齢、性別、国籍を問いません。どなたでも参加できるものです。ハガキもしくは同サイズの用紙（100×148mm）にねじの絵を描いたものや、ねじの写真をプリントしたものをお送りいただくだけです。右上の写真はねじに関する本や絵本ですが、こういったものを参考にしたり、あるいは当社ホームページで製品をご覧くださいながら〈アートとしてカッコいいねじ〉〈縁の下の力持ちねじ〉〈お子さんがねじを手にするアットホームなシーン〉〈こんなねじがあったらいいなという創作ねじ〉〈当社キャラクターねじとくん

のお友だち!?）……各人思い思いのねじ作品をご応募ください。

今はInstagramなどSNSを利用したキャンペーンも多いのですが、今回は応募者お一人おひとりの息吹をより感じたいという思いから、敢えてアナログで「郵送」での応募に限定しています。ご家庭や職場で、ねじを話題に楽しい会話が広がることを願っています。



ねじに関する本を参考にしてもOK。
下は当社社員の子が描いたねじ（ねじとくん）の絵

当社は企業間取引の会社、BtoB企業ですが、エンドユーザー（一般消費者）とのつながりを大切に考え、受験生応援キャンペーンでは集中力持続のお守りとして、これまで3万5000以上の方に「ゆるみ止めねじ」をプレゼントしてきました。またねじをより身近に感じてもらうために、博物館とコラボして「ねじ万華鏡」を制作したり、夏

休みに子供向けの「手づくりねじ」イベントを開催したりしています。ねじのリーディングカンパニーとして〈締結分野のトータルソリューション〉を提供、お客様に対してよりよいもの、専門性を追究していくと同時に、これからもさまざまな形で、ねじの魅力を発信してまいります。

応募方法●作品面でなく宛名面の差出人スペースに応募者ご自身の郵便番号、住所、氏名（フリガナ）、生年月日、電話番号を明記の上、〒223-0052神奈川県横浜市港北区綱島東6-2-21日東精工株式会社『ねじ写真・絵ハガキコンテスト』係までご応募ください。7月31日消印有効。優秀作品には景品をご用意。入賞景品の発送で確認する場合がありますので電話番号を必ず明記ください。応募はお一人様1回限りいたします



NITTOSEIKO'S SDGs

「日東精工SWIMMY」がホームページを開設

働き方改革、ダイバーシティ・インクルージョン（多様性の受容）などが求められる時代において、日東精工は男女平等・女性活躍はもちろん、さまざまな角度から、従業員の働きやすい環境整備を行っています。その一環として、障がい者雇用の創出や職場環境改善などを旨とする特例子会社「日東精工SWIMMY」を2019年に設立しています。



同社では本年4月にホームページを開設しました。ホームページに掲載したキャッチフレーズは〈「創発」にチャレンジするダイバーシティ企業〉です。「創発」は「創造」などに比べるとまだ馴染みは少ない言葉ですが〈全体が部分の総和を超える〉こと。噛み砕いていえば一、〈「個」の力も重要だが、その「個」が結集し互いに影響・共鳴することで大きな力を発揮することができる。1足す1は2とは限らず、3にも4にもなり得る〉ということです。人も仕事も多様な「個」と「個」がつながることで化学反応が起こり、より大きな力を発揮していく……キャッチフレーズにはそんな思いが込められています。

同社では本年4月にホームページを開設しました。ホームページに掲載したキャッチフレーズは〈「創発」に



日東精工SWIMMYはこれまで日東精工グループの業務委託を主としていました。ホームページ開設は、これまで以上に外（日東精工グループ外）へ向けて、会社の存在を発信することでもあり、外部からの仕事を受注したり、情報を得たりすることにつながります。集中して丁寧に作業を行うことができるといったような従業員の長所を活かした仕事の幅を広げていく予定であり、実際、環境関連事業などいくつかの問い合わせもいただいています。既存のスキャニングや印刷作業などを含めて、Withコロナの時代、働き方や物理的な距離感が多様化していますので、ニーズはたくさんあると期待しています。

また、これまで事業所を多数の方に見学いただきました。綾部商工会議所会報誌「APRESS」の取材を受け、地元経済界から期待されています。今後も特例子会社を設置する会社のモデルとして、地域社会に貢献してまいります。



歴史ある専門実務誌『機械設計』で当社「カラーレスタイト」が特集されました

月刊誌『機械設計』（日刊工業新聞社発行）5月号では、「ねじ締結体設計と安全管理のポイント」が解説されています。この特集では当社ファスナー事業部の鳥居慎吾が〈鉄カラー&インサートナット廃止ねじ「カラーレスタイト」の開発〉を担当、寄稿。5ページで詳細に同製品の特長をご紹介します。1957年創刊の歴史ある専門実務誌で、当社の技術や製品を訴求することができました。



※カラーレスタイト

樹脂材の締結では経年劣化・変形を防ぐためにカラーと呼ばれる鉄製の筒やインサートナットを使用するのが一般的でしたが、これを廃止した新しい樹脂用締結ねじ。工程を減らし省力化、軽量化、コストダウンに貢献します



より詳しい情報は
QRコードご参照

日東精工アナリテック(株)が環境負荷低減型元素分析装置を新発売

日東精工アナリテックは分析計測技術を通じて地球環境を守り、豊かな社会づくりに貢献しています。この度、新機能を搭載した微量窒素・硫黄・塩素分析装置NSX5000Vシリーズを新開発し販売を開始。主な特長は●試料温調システム（冷却機能）により、適正な試料採取が可能●シリンジ内で高濃度試料の希釈が可能●ガス使用量を従来機に比べて40%削減●スケジュール管理機能により、ヒーターオンから測定終了後のガス遮断まで自動化可能●操作履歴や測定条件などを自動で記録（上位者のみ閲覧可能）など。石油精製、石油化学、化学工業などへの展開を図ります。



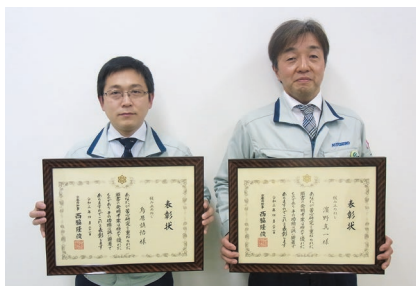
より詳しい情報は
QRコードご参照

当社ならびに日東協力会の社員が「京都府発明等功労者表彰」受賞

当社ファスナー事業部の濱野真一と鳥居慎吾（上の項目も参照）が「第65回京都府発明等功労者表彰」における「発明考案功労者表彰」にて入賞しました。ゆるみ止めねじ「アブスロック」開発に関連し「本発明により、従来はおねじに塗布していた接着剤の塗布が不要となり、ユーザ側のコストダウンとねじ込み作業の能率アップに寄与した」と評価さ

れたものです。

また、同表彰では当社の協力会社で構成している日東協力会の俣波多野製作所からも、上原浩一さんと佐々木力さんが「ねじ生産を効率化させる移動式段取り台車の考案」で「創意工夫功労者表彰」入賞を果たしています。



「発明考案功労者表彰」入賞のファスナー事業部、濱野（右）と鳥居。右の写真は「創意工夫功労者表彰」入賞、波多野製作所の「移動式段取り台車」



※アブスロック

めねじの構成要素のなかで比較的安定した（バラツキの少ない）フランク面へ特殊ねじ山形状を干渉させることにより、めねじ精度に影響を受け難く安定したゆるみ止め効果を発揮するゆるみ止めめねじ



ゆるみ止めめねじ
「アブスロック」



より詳しい情報は
QRコードご参照



季節外れのクリスマスツリー ～新しい価値創造～

伝

統を柔軟な発想、新しい視点で見直して、これまでとは違う価値を創造したという事例はたくさんあります。たとえば京都にある和傘屋さん。和服を着る人も少なく、番傘や和傘の需要もなくなり廃業寸前だったのですが、傘は傘でも照明具の傘、ランプシェードにその技術を転用したところ、海外の方に受けて高い評価を得ることができました。今やマーケットは国内だけでなくワールドワイドになり、そしてランプシェードがきっかけで和傘の良さも再評価されています。

あるいは群馬県の沼田市の下駄屋さん。コロナ禍で観光客も減り、夏祭りなども中止となって下駄の売れ行きが激減、もはやお店を畳むしかないというところまで追い込まれたそうです。けれど町に1軒しかない伝統工芸店をなんとか存続させたいと、地域起こし協力隊がサポート。下駄の底の部分にゴムのクッション

ンを貼り付けた室内履きをつくったところ、コロナで室内にすることが増えたこともあり、履き心地の良さと新しさが受け、ネットなどで大評判となりました。今は数か月先まで予約で埋まっているという状況だそうです。

☆

さらにもう一例、当社本社がある京都府綾部市図書館のことです。この図書館の貸出カウンターそばにツリーが置かれています。

クリスマスでもないのになぜ？ じつはこれ、片付け忘れではなく、ソーシャルディスタンスのための小道具。

「距離を置いて」「近づかないで」という張り紙をしたり注意したりはあまり愉快ではありません。でもツリーを置くことで、人と人との間に自然と距離がつくれるわけです。しかもオーナメントとして4月は折り紙の「桜」を、5月は折り紙の「ウサギ」を飾りつけ、6月は「カエル」に模

様替え……季節外れどころか、季節感満載のとても楽しいツリーなのです！ また模様替えの日にはそれまでの折り紙をプレゼントして子どもたちに喜ばれているそう。これも新しい価値創造！ です。

コロナ禍でイライラすることも多く、うまくいかないことも多いです。不平不満、マイナスのことのほうが話題やニュースになりやすいですが、少しでも楽しく、少しでも気持ちよく、今あるもので工夫して、皆に喜んでもらいたいという前向きな気持ちは、ぜひ見習いたいものです！



連載④

あやべ ちょっと寄り道

「きゅうり封じ」で
コロナ退散祈願

今から1200年前、弘法大師（空海）がきゅうりに病魔を封じ込めて苦しみを取り除いたことを由来とする「きゅうり封じ」。京都市内では神光院（西賀茂の弘法さん）や蓮華寺などで開催。あやべでは禅宗初祖・達磨大師の「七転八起」にちなみ、宝住寺の薬師如来を「起き上り薬師」として「きゅうり封じ」が行なわれています（今年は7月18日を予定）。きゅうりの力でコロナ退散となりますように！



写真／綾部市観光協会

